

お知らせ

ニュースレターVol.4

第5回いのちめぐるまち推進協議会 開催
(2020.08.03)

◆FSC®認証更新審査の取材に行ってきました！

南三陸森林管理協議会で取得している国際森林認証（FSC®）の更新審査が実施されました。



認証の有効期限は5年間であり、今回は取得から初の更新審査でした。審査は無事に通過し、環境・社会・経済に配慮した林業経営の継続が確認されました。

審査を無事に通過し、ホッとしました。

FSC®認証をベースに山の価値を上げ、地域で持続可能な林業を目指す仲間を増やしていきます！



南三陸森林管理協議会 事務局長
佐藤 太一氏

第5回目となるいのちめぐるまち推進協議会を開催いたしました。今回の話題は、「マダニ媒介感染症のリスクと対策（サステナビリティ学講座2020 Vol.1）」、「志津川湾で始まった環境DNAでの魚類相調査、海洋酸性化のモニタリングについて」、「協議会のこれまでの議論とその後について（地域マンダラの活用と基金事業の顛末）」でした。

マダニ媒介感染症とは、マダニに刺咬されること等によって媒介する感染症で、国内でもSFTSや日本紅斑熱等の感染者が出ており、死亡事例もあります。また最近ではペットへの感染も確認されています。近年個体数を増加させているシカやイノシシと共にマダニも増加しており、宮城県内でも森林内はもちろん、農地や公園等でもマダニに刺咬される可能性があります。協議会では、マダニの生態や具体的な対策方法について、サステナビリティセンターの相澤より話題提供させていただきました。

また、志津川湾で始まった環境DNAを利用した志津川湾の魚類相調査と海洋酸性化のモニタリングについてサステナビリティセンターの太齋よりご報告させていただきました。環境DNA調査は、海の水をとってくるだけでそこにどんな魚がいたのか分かる画期的な調査法です。魚類相の変化や新たな発見が期待されます。また、海洋酸性化はカキやホタテ、ウニの生育に大きな影響を及ぼす問題で、全国に先駆けて志津川湾と岡山県の日生で調査が始まりました。JFみやぎ志津川支所と青年漁業士の皆様のご協力ですべて町自然環境活用センターと協働で実施していきます。

今年度設置予定だったラムサール基金事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、設置を延期し、実施体制も含め再検討することとなりました。地域の産業活性化をまず進めるべきとの判断から、今後は第3回協議会で参加者のみなさんと作成した南三陸地域マンダラ1.1のフラッシュアップを優先していきます。地域マンダラで「地域資源」と「産業の種」の見える化を進め、事業に参入しやすい環境を整えます。

◆南三陸版SDGsチェック

リストとDNA教材を公開しました！

南三陸版SDGsチェックリストは協議会のHPまたはサステナビリティセンターHPからPDFでダウンロードすることができます。各企業や学校等で是非ご活用ください！

また、サステナビリティセンターが制作したDNA調査を理解するための教材「DNAで世界が見える！～ここまでわかる・DNA分析入門～」も公開しました。こちらセンターHPからダウンロードすることができます。最新の分析法を是非学んで頂ければと思います。

サステナビリティセンターHP
著作一覧ページ

URL : <https://m-sustainable.org/works/writing/>

◆CSSオンラインショップを開設しました！

サステナビリティセンターのオンラインショップを開設しました。現在はASC認証を取得している戸倉っこ牡蠣を販売しています。サステナビリティセンターのグッズも製作中のため、今後さらに商品を増やしていく予定です！お楽しみに！

事務局の近況

サステナビリティ学講座2020開催中

今年のサステナビリティ学講座は、全5回の開催予定です。Vol.1「マダニ媒介感染症のリスクと対策」（8月3日）、Vol.2「1滴の自ら世界を見る～環境DNA調査を体験しよう！～」(8月22日)、Vol.3「被災者としての貝類」（10月3日）Vol.4「eDNAが語る志津川湾の現状」（12月19日）は無事に終了しました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。Vol.5「オンラインミニシンポジウム 志津川湾の藻場研究」は2021年2月6日14時より開催予定です。YouTubeでの生配信のため、お申し込みは不要です。配信URLはQRコードを読み取って頂くか、詳細についてはサステナビリティセンターHPまたはFacebookをチェックしてください！Vol.4、Vol.5はアーカイブを公開する予定となっておりますので、当日ご参加いただけない場合でもご覧頂けます。



Vol.2環境DNA調査体験の様子



Vol.3「被災者としての貝類」



← Vol.4見逃し配信はコチラ

Vol.5志津川湾の藻場研究はコチラからご参加下さい。2月6日(土)14時～



オンライン対談イベント「シン・南三陸」

今年度開催予定だった里海カンファレンスin南三陸2020がコロナウイルス感染症拡大の為、来年度に延期となり、フレイベントとして「シン南三陸」をオンラインで開催しました。牡蠣漁師の後藤清広氏、海職人の高橋直哉氏、林業家の佐藤太一氏、Yes工房の大森丈広氏、4人のリーダーをお迎えし、それぞれの持続可能な地域社会に向けた取り組みや思いを語っていただきました。

◆入会・会員更新のご案内

会員のみなさまにおかれましては、年度替わりのご多用な時期お過ごしと存じます。まだ今年度の会費を納付されていない方は、納付をお願いいたします。納付方法は、下記口座宛の銀行振り込みにてお願いいたします。お振込みの方で別途受領書が必要な方はご連絡ください。

(直接現金での納付を希望される場合は、代表・太齋：050-5236-2263までご連絡頂ければと思います。)

会費納付先口座：

七十七銀行志津川支店：500

口座番号：普通 5006205

名義人：シヤ) サステイナビリティセンター

◆協議会ホームページ

URL：<https://meguru.m-sustainable.org/>



※今後はPDFでの配布を主としてお知らせしていましたが、コロナ禍でコミュニケーションが限定されることに鑑み、今回のニュースレターは会員の皆様全員に発送しております。

いのちめぐるまちニュースレター
～不定期発行～
編集・発行
一般社団法人
サステイナビリティセンター

ご参加いただいた皆さん、たくさんの質問やご感想、ありがとうございました。

里海カンファレンスは来年度は現地での開催を目指し、準備を進めていきます。

鳥獣被害対策モデル事業

令和2年度鳥獣被害対策モデル事業として、歌津の一部の地域の対策支援をさせていただきました。野生動物による農業被害の対策方法の講義のあとは、実際に住民の方と一緒に集落を点検し、地域での課題を可視化していきました。ニホンジカはもちろんですが、イノシシも増えてきている地域。収穫していない柿の木もたくさんあるので、ツキノワグマを誘引してしまう可能性もあります。現在は来年度に向けた具体的な対策を検討中です。



～会員のみなさまへ～

本来であれば会員の皆様と年1～2回集まる機会を設ける予定でしたが、今年はコロナウイルス感染症拡大のため実施することが叶いませんでした。その代わりと言っては何ですが、事務局では、会員向けサービスとして年1回2時間程度の事業コンサルティング、または社員研修を承っています。たとえば、SDGsチェックリストを使用した企業の取組み確認や、海・山の現状課題に対する講演等です。ご希望される方はお気軽に協議会事務局までご連絡ください。

コロナウイルス感染症の終息後は、全国各地で一斉に活動が再開されます。上記サービスも活用しながら、南三陸の森里海の魅力を発信できるようしっかり準備を整えましょう。先が見えない困難な時代ですが、力を合わせて乗り切っていきましょう！